情報提供資料

令和４年１月 25 日(火)

日　高　市

総合政策部　市政情報課　情報化推進担当

℡042-989-2111　内線 2269

課長　関口　秀昭

担当者職・氏名　主幹　秋葉　基樹

個室ブース「One-Bo」導入で、新型コロナウイルス感染症対策および自治体 DX を推進

概要

当市では、新型コロナウイルス対策臨時交付金を活用した感染症対策の一環として、WEB 会議用個室ブース（One-Bo）を導入しました。

三密（密集、密接、密閉）を避けるためのオンライン会議増加に伴う会議室不足や周囲の声や姿の映り込み・情報漏洩等のリスク対策として、遮蔽性、防音性の高い個室ブースを導入することで、オンライン会議の環境を整備し、感染症対策を推進します。

また、感染症対策のための分散勤務のみならず、ニューノーマルな働き方に対応するためのサテライトオフィスとしての利用を促進することで、アフターコロナの自治体ＤＸも推進します。

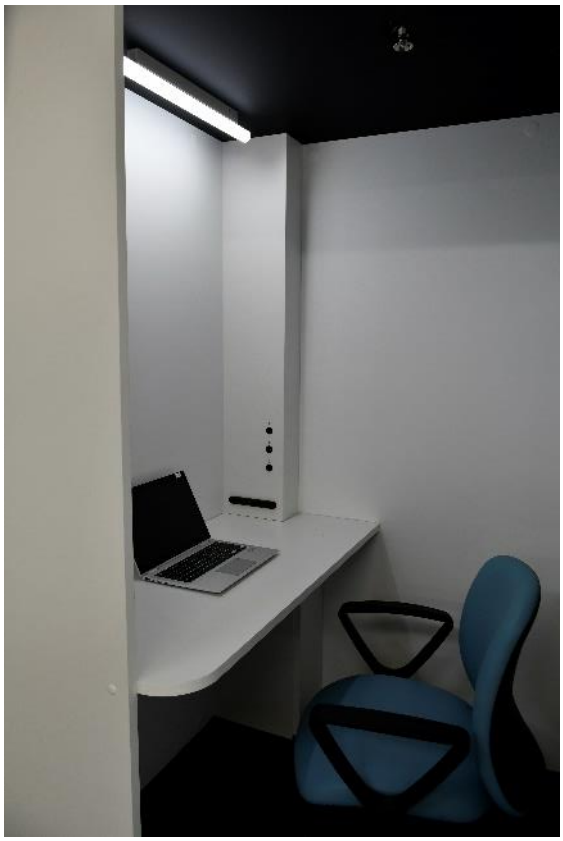
効果

感染症対策	個室内は常に換気されるため、室内の空気を常に綺麗な状態に保つ
情報漏えい対策	個人情報を扱う相談業務や機密性の高い情報を扱う会議でも安全にオンライン会議を行える
会議室難民対策	専用のスペースを設けることで、オンライン会議のために広い会議室を少人数で占有してしまうことを減らし、会議室は本来の目的で有効活用することができるようになる
自治体ＤＸ	オンライン会議に必要な機器を常設することで、機器設定等の無駄な時間を省き、オンライン会議に不慣れな職員でも必要な時にストレスなく使えるようにすることで、本来の業務に専念できるようになる

その他

「One-Bo」の導入は自治体初。

WEB 会議用個室 BOX(One-Bo)設置の様子(日高市役所内)



One-Bo とは

「One-Bo」は、オンライン会議が当たり前になったことにより生まれた 3 つの新たな課題（1.イヤホンボイス公害　2.会議室難民　3.リモート漏洩）を解決するために、株式会社プラザクリエイトと株式会社 Zoom が共同企画したパーソナル・ミーティング・ボックスです。

※写真はイメージです